

2022年3月1日

在大阪ロシア連邦総領事館

総領事 アレクサンダー・テルスキフ 殿

しないさせない戦争協力関西ネットワーク

共同代表 中北龍太郎

声明文

1. ロシアは24日、一方的に「独立」承認したウクライナの東部地域にロシア軍を侵入させるとともに、ウクライナ各地の軍事施設、キエフ、オデッサなどへの攻撃を始めた。これはウクライナの主権と領土を侵し、国連憲章、国際法を踏みにじる、まぎれもない侵略行為です。
2. ウクライナ国境地帯にはチェルノブイリ原子力発電所があり、ロシア軍に制圧されました。核による脅威を振りかざし、今後さらに死傷者が増えること、まして核兵器が使用される事態は、絶対に防がなければなりません。ロシアのウクライナ侵攻は、国際法に反します。武力では真の問題解決はありません。戦争によっては、いかなる平和も勝ち取ることはできません。
3. プーチン大統領は、この侵略行為にあたって、ロシアが核兵器大国であることを誇示し、欧米の批判や制裁の動きに対抗する姿勢を見せています。核兵器で世界の諸国を威嚇するものであり、今日の世界において、決して許されるものではなく、怒りを込めて糾弾します。
4. プーチン大統領は同日の演説で、今回の軍事行動はウクライナ東部地域の「要請」を受けたもので、国連憲章51条の「集団的自衛」だとしている。しかし、一方的に「独立」を認めた地域・集団との「集団的自衛」などありえず、国際法上まったく根拠がない暴論です。
5. 大統領はまた、ウクライナの「脱軍事化、脱ナチス化」を進めるとのべ、東部にとどまらず、ウクライナ全土でロシア軍を展開させる構えを見せている。ロシア国防省はウクライナの各地の軍事施設への攻撃も明らかにしました。ウクライナを独立国・主権国家として認めない態度であり、厳しく非難します。
6. あらゆる武力行使に反対します。ロシアとウクライナの戦争の拡大を一刻も早く止め、軍事同盟による戦争抑止の考えを捨て、対話による平和構築への最大限の努力をして下さい。
7. 全世界ではロシアはウクライナから即時撤退せよ！と反対の声が上がっています。ただちに軍事行動をやめ、撤退させることを強く求めます。

以上